

アスベスト

Asbestos

南富良野町の状況

アスベストによる健康被害が明らかになり、広く社会問題化しています。

本町では、所有する全施設について、アスベストの使用実態を調査したところ、総合福祉センターボイラー室・南富良野高等学校ボイラー室（2か所）・金山地区コミュニティセンターボイラー室・保養センターボイラー室（2か所）・役場重機庫庫物品庫の5施設7か所について、一部アスベスト含有の恐れがある吹き付けロックウールの使用が確認されましたが、関係者以外立ち入りが出来ないため、通常の施設利用については安

全です。また、施設関係者がボイラー室などへ出入する際には、防じんマスクを使用するよう指導しています。

今後、これらの施設を対象に吹き付けロックウールにアスベストが含有されているか、詳しい分析調査を行い、調査結果に基づき必要な対策を講じていきます。調査の結果につきましては、2・3ヶ月程度かかる予定となっておりますので、判明次第広報でお知らせします。

アスベストQ&A

アスベストとは？

アスベストは、線状の鉱物で、安価な工業材料としてスレート材、ブレーキライニングやブレーキパット、防音材、断熱材、保温材、吸湿材などの産業用はもちろん、家庭用ヘアードライヤーなどの身近なところまで広範囲に使用されています。

国内の使用量の約80%は建築材料として使用されていますが、これらは吹付けアスベストやアスベストを含有するロックウール吹付けなど飛散のおそれのある（飛散性）アスベスト含有建材と、屋根や壁材等のアスベストスレート、アスベストセメント板など飛散の

おそれのない（非飛散性）アスベスト成形板の2つに大別されます。吹付けアスベストは昭和50年に禁止されましたが、ロックウール吹付けの一部には昭和55年まで、

また個別に認定を受けた吹付け工法の中には昭和63年までアスベストを含有したものがあり、これらは経年劣化による剥離などにより大気中にアスベストが飛散するおそれがあることから、劣化状況によつては早急な対策が必要となります。一方、非飛散性のアスベスト成形板は、通常の使用では健康に心配はないとされています。

現在、「アスベスト含有建材」とはアスベストが1重量%を超えて含まれる建材と規定されていますが、建築物の改修・解体工事を行う際、アスベストが飛散しないよう適切な対処をすることが求められています。

アスベストはどんな特性を持っていますか？

アスベストは、その繊維が極めて細く、容易に空中に浮遊します。このため、人が呼吸器から吸入しやすいという特質を持っています。また、通常の環境条件下では半永久的に分解、変質しないことおよび地表に沈降したものでも容易に

再度粉じんとして空中に飛散するため、環境蓄積性が高い点で、他の汚染物質と異なる面をもっています。

アスベストが原因で発症する病気にはどのようなものがありますか？

アスベストの繊維は、肺線維症（じん肺）、悪性中皮腫の原因になるといわれ、肺がんを起こす可能性があることが知られています（WHO「世界保健機構の報告による」）

アスベストによる健康被害は、アスベストを扱ってから長い年月を経て出てきます。例えば、肺がんは15〜40年、またはそれ以上という長い潜伏期間の後発病することが多いとされています。

（参考・北海道ホームページ）

アスベストについての最寄の相談機関

健康相談に関すること

富良野保健所 23 3161

労働災害関係に関すること

旭川労働基準監督署

0166 51 6101